

「上野千鶴子『女たちのサバイバル作戦』を読む」第7章

〈この章を読んだ印象をグループで話してみよう〉

〈ことば〉

1970年代の全結婚時代

猫も杓子も＝誰も彼も例外なく

コーホート (cohort) 共通した因子を持ち、観察対象となる集団のこと。

～てなんぼ＝行為の内容と合わせると、～してやっとなんらかの利益が得られる、という意味。

お腹を見せる＝服従、リラックス、安心、幸福感など

羨望 (せんぼう)＝うらやましく思うこと

永久就職

狡猾 (こうかつ) に察し

盗人猛々しい＝盗みをしながら平気でいたり、悪事をとがめられて逆に居直ったりする態度。

盗人にも三分の理＝悪事を働くにもそれなりの理由がある。どんなことにも理屈は付けられる。

愕然 (がくぜん) とする＝非常に驚く様子

自己譴責 (けんせき) の念＝譴責 (叱り、責めること。不正や過失などを厳しくとがめること)

ホリエモン＝堀江貴文

上げ潮に乗る＝時流に乗り、物事が順調に進む

登録型派遣業 (もともとは家計を支えるのではなく、夫や親など経済的インフラを背景に家計の「補助」的な位置づけだった)

結婚できない男 (長男・家業後継者・過疎地)

木嶋佳苗 (2007～09年に起きた首都圏連続不審死事件犯人。婚活を利用した殺人事件)

ケア＝介護問題→自分が誰かをケアする立場になることを想定していない

否認 (ひにん) する

逃避 (とうひ) する

嗜癖 (しへき)＝ある特定の物質や行動、人間関係を特に好むこと。アディクション。

いい面の皮＝思わぬ迷惑をこうむったとき、自嘲気味に言うことば。

逆ギレ (する)＝本来なら怒られるべきの人が怒り出すこと。

〈この章のトピック〉

結婚がマストアイテムではなく、選択肢の一つになったのは、結婚から離れて生活できるだけの可能性が開かれたから。

パラサイトシングル＝現状を迫認し逃避するための口実に過ぎず、親もまた現実を直視することを避けている

日本の失業率のデータ＝求職活動をした者だけが失業とみなされる

負けた雄犬は笑いの対象にさえならないという厳しい現実がある

雇用崩壊→男性にも

高齢者の孤立(前期高齢者男性のほうが孤立度が高い=この世代には離別、他者との非交流が多い)

〈問〉

結婚が選択肢になって、女性にとって良い時代になったと言えるだろうか？

『負け犬の遠吠え』の男性版が書かれないのはなぜか？

ケアされる性としての男性の老後のシナリオとは？